

ロータリ除雪車（１．３ｍ級）仕様書

この仕様書は、ロータリ除雪車（１．３ｍ級）に適用するもので、納入機は、下記に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、道路除雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性、良好な操縦性能を有するものとする。

納入機は、運輸省令昭和26年第67号（以降の改正分を含む）「道路運送車両の保安基準」に適合するもの、又は平成17年法律第51号「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」に基づく「特定原動機技術基準」及び「特定特殊自動車技術基準」に適合するものでなければならない。

但し、継続生産車・輸入車・少数生産車については平成3年10月8日付け、建設省経機発第249号（以降の改正分を含む）「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき指定され、4次基準値以上に適合した排出ガス対策型建設機械とする。

1. 品名 ロータリ除雪車（１．３ｍ級）
2. 数量 2台（新車）
3. 納入場所 会津若松市建設部道路課 道路河川管理センター
 （住所：会津若松市神指町大字南四合字オノ神491番地の1）
4. 納入期限 令和8年11月16日（月）

5. 性能（JIS D6509 性能試験）
 - (1)最大除雪量 700t/h以上
 - (2)投雪距離 12m以上
 - (3)最大除雪幅 1,300mm
 - (4)最大除雪高 1,000mm以上
 - (5)走行速度 40km/h以下

6. 主要諸元
 - (1)全長（走行姿勢） 5,500mm以下
 - (2)全幅（除雪装置含む） 1,300mm以下
 - (3)全高（黄色灯火上端まで） 2,500mm以下
 - (4)最小回転半径（最外側車輪中心） 4.0m以下
 - (5)乗車定員 2人
 - (6)車両総質量 6,500kg以下

※なお、「11. 付属装置及び付属品 11-2. 車両総重量に含まないもの」以外は、本車両総重量に含むものとする。

7. 車体
 - (1)機関 形式：水冷、ディーゼル機関
 定格出力：60kw以上
 - (2)走行装置 後車軸もしくは前後車軸に懸架装置を有すること。
 - (3)タイヤ スタッドレスタイヤ
 - (4)かじ取り装置 油圧式車体屈折機構式

- (5)運転室 構造：全鋼製密閉型
窓：前面熱線入り合わせガラス（タイマー付）、冬用ワイパーブレード付

8. 除雪装置

- (1)形式 ツーステージ形、ロータリ除雪装置、雪切板
(2)構成 オーガ（リボンスクリュー形）、ブロワ、旋回・放出角可変・伸縮起倒式シュート、油圧式チップバック
(3)能力 シュート旋回角度 250 度以上
シュート高さ 2,800mm 以上
昇降範囲 地下 50mm～地上 300mm以上
チルト角度 左右各 5 度以上
シュート：除雪装置の接地状態を調整できるシュートを有すること。
安全装置：除雪装置に過大な負荷や衝撃が生じた場合、（シャープピンの切断等により）除雪装置の破損を防止する安全装置をオーガ系、ブロワ系に各々設けること。また、オーガ空転防止装置を設けること。
(4)その他 シュート系統、装置チルト、昇降装置は油圧作動とする。

9. 計器類

- (1)燃料計 1 式
(2)運行記録計（45km/h以上、機関回転数記録、7 日計） 1 式
(3)機関回転計（運行記録計組込型も可） 1 式
(4)アワーメータ 1 式
(5)油圧計又は油圧警告灯（走行用油圧回路補給用） 1 式
(6)水温計 1 式
(7)充電警告灯 1 式
(8)機関油圧計又は機関油圧警告灯 1 式

10. 照明装置類

- (1)前照灯 1 式
(2)黄色灯火（散光式） 1 式
(3)前方作業灯（シュート作業灯） 1 灯
(4)LED 後方作業灯 1 灯
(5)ステップランプ 1 式
(6)その他標準照明装置類 1 式

11. 付属装置及び付属品

11-1 車両総質量に含むもの

- (1)バックブザー（後方 1 mにおいて、音圧80dB（A）以上） 1 式
(2)カーヒータ（温水式デフロスタ付） 1 式
(3)ウインドウォッシャー（前面、電動式） 1 式
(4)標識板（300×570mm以上、車体後部取付） 1 式
(5)バックモニター（熱線入りカバー） 1 式
(6)ドライブレコーダー 1 式
・前方、後方 2 方向録画できるもの
・カメラの形状は不問
・記録媒体：マイクロ SD カード（16GB 以上）

11-2 車両総質量に含まないもの

(1)予備シャーペン（全種類各10本）	1 式
(2)標準付属工具	1 式
(3)取扱説明書	1 部
(4)部品表	1 部
(5)履歴簿	1 部
(6)タイヤチェーン（スタンダード、スプリングワイヤーバンド）	1 式
(7)床マット	1 式

12. 塗装及び名入れ標示等

(1)国土交通省建設機械塗装基準による。

(2)名入れ

- ①「会津若松市」と車体両側面及びその他発注者が指示する箇所へ表示する。
- ②「会津若松市の徽章」を車体両側面の発注者が指示する箇所へ表示する。
- ③「小型除雪車」と車体両側面の発注者が指示する箇所へ表示する。
- ④「管理番号」を車体両側面の発注者が指示する箇所へ表示する。なお、表示する「管理番号」は発注者が別途指示する。
- ⑤ 各表示の色、大きさ、位置については、発注者受注者別途協議する。
- ⑥ 文字の表示に要する経費は受注者の負担とする。
- ⑦ ①～④以外の名入れが発生した場合は、発注者と受注者が協議のうえ決定するものとする。

13. 検収

完成検査は、寸法、外観、溶接、その他組立状況を検査し、さらに車両や作業装置類の動作等の確認を行い全般的な機能を検査する。

ただし、車両総質量については、本仕様書で定めたとおりであることを、その内訳が判る資料により検査する。

検査に要する器具、人員等は受注者において準備するものとする。

14. 保証

納入後1箇年以内に設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には、受注者は無償修理を行わなければならない。ただし、製作会社等が別に定めた保証期間が1箇年以上にわたる場合には、それを適用する。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、発注者と受注者が協議のうえ、受注者に無償修理を行わせることがある。

15. その他の事項

(1)黄色灯火の取付方法は、次のとおりとする。

- イ 黄色灯火の規格、取付位置については、「道路維持作業用自動車及び道路管理用緊急自動車の取付について（昭和55年6月5日付け、建設省機発第473号（以降の改正分を含む））」に準じるものとする。
- ロ 黄色灯火は、運転室又は作業装置上部に堅固に取付け、黄色灯火の重量、振動に耐えるよう取付部分に必要な補強を行うものとする。

(2)提出図書の言語の指定

取扱説明書など提出を義務づけられた図書に使用する言語は、日本語とする。

(3)緩和申請等について

本履行にあたり、車両登録、基準緩和の申請及び道路維持作業車の申請・届出については受注者が行なうものとする。また、これらにかかる費用は受注者の負担とする。

ただし、これにより難しい場合は発注者の指示を受けるものとする。

(4)道路運送車両法（昭和 26 年 6 月 1 日法律第 185 号）による車両検査登録手続きは、受注者において行うものとし、これに要する費用を入札価格に含むものとする。

(5)自動車の保管場所の確保等に関する法律（昭和 37 年 6 月 1 日法律第 145 号）による自動車保管場所証明書に係る手続きは、受注者のおいて行うものとし、これに要する費用を入札価格に含むものとする。

(6)車検証に記載する仕様の本拠地の位置

発注者が受注者へ別途指示するものとする。

(7)納入日時については、事前に担当者と調整のうえ行うこと。

(8)輸送費用等

受注者は納入場所への搬入を行うものとする。また、搬入に伴う輸送費及び諸経費は受注者の負担とし、入札価格に含むものとする。

(9)自動車損害賠償責任保険料

自動車損害賠償責任保険料については、入札価格に含めず、発注者の負担とする。

(10)会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を遵守すること。